



上信越高原国立公園

親しみやすい山岳公園

万座自然保護官事務所アクティブレンジャー 小林 映絵

昭和24年に指定され、群馬・新潟・長野の3県に跨る上信越高原国立公園は、日本の国立公園の中では2番目の大きさを誇ります。

万座自然保護官事務所では、そのうち草津・万座・浅間・谷川地域を受け持っております。草津白根山・四阿山・浅間山や谷川岳などの山岳公園となりますが、道路やロープウェイなどの施設が充実しており、比較的アクセスが良いのが魅力です。そのため公園内では、本格的な登山から気軽な観光を目的とした方、外国の方や小さなお子様を連れただご家族など、目的や国籍、年齢問わず数多くの方と出会うことができます。



弓池と逢ノ峰(弓池周囲は木道で整備され利用しやすくなっている)

山の巡視を行っている際には、休憩中や歩道ですれ違う時に挨拶とともに、ひとことふたこと言葉を交わす機会があります。互いに登山道沿いに見た花情報を交換したり、環境省や国立公園について興味を持っていただいたり、時にはお話しいただいた方の地元の美味しい食べ物情報などについて教えていただくこともあります。自然には、そのものから得られる楽しさや癒しの他に、それを通して人との交流や触れ合いの場となりうる力があるのだと感じています。



レンゲツツジと湯ノ丸山

これからの時期は、管内のあらゆる地域で高山植物が楽しめます。特にこれからの時期、私がオススメするのは、6月中旬から7月上旬にかけて見頃を迎える湯ノ丸山のレンゲツツジ群落です！国の特別天然記念物にも指定され、約60万株のレンゲツツジが咲き乱れます。それと併せ、湯ノ丸山・烏帽子・角間山への登山をお楽しみ頂くのはいかがでしょうか。湯ノ丸山頂からは眼下に広がる、レンゲツツジ群落が楽しめます。

是非、自然と人に触れ合いに上信越高原国立公園へ足をお運びください！

新所長ご挨拶



中部地方環境事務所長

神田 修二

このたび、4月1日付けで中部地方環境事務所長に就任しました。どうぞよろしくお願い申し上げます。私にとりまして中部地方は、かつて長野県、三重県、福井県で通算8年間勤務、生活した経験もあり、とりわけ馴染み深い地域です。この地域で、また新たな立場で仕事をさせていただくことを楽しみにしております。

昨年は、愛知県名古屋市で生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催されました。会議では各国の利害が対立し難航しながらも、最後の最後に「地球益」「人類益」を守る重要性が共有された結果、新たな世界目標(愛知目標)や名古屋議定書の合意など、地球環境を守るための画期的な成果を上げることができました。この世界人類の共通目標の達成のためには、今度は、我々一人一人が、地域地域が、実践を一つ一つ積み重ねていく必要があります。

今、私たちは、東日本大震災と言う未曾有の大災害を目の当たりにして、地球に生かされている小さな存在であることを思い知らされています。であるからこそ、少なくとも私たちの生活によって、地球環境という人類の生存の基盤を揺るがしてはいけないのだとも思います。自然の大きな力の前には、ともすると無力感に苛まれそうにもなりますが、「人事を尽くして天命を待つ」といいます。我が国が復興を果たし、希望に満ちた新たな時代を切り開く上で、私たちが生かされている地球環境を守っていくという不断の努力を今尽くしていくことは、将来の向けた私たち世代の責務だと思います。

私を含め、中部地方環境事務所では、中部地域の皆様と一丸となって、人類共通の目標である地球環境の保全のため、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会の実現、それを通じた地域の活性化に全力で取り組んでまいりたいと考えております。今後とも皆様方のご協力をお願い申し上げます。